

ま な び や

運動会・体育祭・文化祭と言えは

懐かしいフォークダンス!?!

原点は、明治期の女学校に..

オクラホマミキサー コロブチカ
マイム・マイム ジェンカ etc



日本の学校教育にフォークダンスが取り入れられたのは、明治時代の欧化政策の影響もあり、明治期に西欧の社交ダンスやフォークダンスの流れをくむ踊りが多くの女学校で体育の種目となり、大正期から今へと続いています。なじみのある「オクラホマミキサー」などは、戦後に進



駐米軍により持ち込まれたようです。特別な施設を必要とせず、費用もかからないため地域や職場に広まり、学校の授業や体育会の種目などに定着してきたようです。
★文化祭の最終日、校庭でたき火を囲んで踊ったり、もう少しという時に曲が変わり、踊りの輪が逆回りになったりした事を思い出しますね？

一斉にフォークダンス、敦賀市立角鹿中学校

給食前に体育館で続く伝統の行事

県内でフォークダンスが、伝統になっている学校があります。敦賀市角鹿中学校では約50年前から続くフォークダンスの行事があります。給食を配膳する時間になると、当番以外の生徒100人以上が体育館に集まって一斉に踊り出します。小気味よい音楽が流れる中、掛け声に合わせて生徒同士が交流を深めています。



現代的なリズムのダンスを選ばれることも多くなっていますが、今でも、フォークダンスには根強い人気があるようです。
▼「かかと、つま先、イチ、ニツ、サン!」「左足・左足、右足・右足、前、後、前・前」

もとは生徒指導の一環のようでしたが、今は生徒会の自主活動で、保護者には卒業生も多く昔を懐かしんでいるという事です。(平成29年9月18日・福井新聞参照)
平成24年度からは、全国でダンスが中学1、2年生の体育で男女とも必修化され、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」から選択履修することになっています。

